

令和5年度第3回  
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会  
議事要旨

- 1 日時 令和5年7月24日(月)午後1時30分～
- 2 場所 大阪市中央区役所 7階 704会議室
- 3 出席委員 (会場出席) 浅田委員長、網代委員、奈良委員、原委員、槇山委員、南委員、吉川委員
- 4 議事内容

(1) 公立大学法人大阪令和4事業年度及び中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価について

- ・ 事務局から資料3-1に基づき、「小項目評価の審議結果(案)」について説明があった。
- ・ 小項目評価における継続審議項目に関して、法人から、資料3-2「第2回評価委員会での法人への追加確認事項及び回答」に基づき、第2回評価委員会において、法人に追加説明を求めた事項について説明があった後、小項目評価について審議が行われた。
- ・ 小項目評価の審議後は、資料1-1「公立大学法人大阪令和4事業年度の業務実績に関する評価結果(素案)」及び資料2-1「中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果(素案)」に基づき、事務局から大項目評価を含めた、評価結果の素案について説明があり、その後、大項目評価について審議が行われた。

<主な意見>

**【議事1：令和4事業年度の業務実績評価】**

- 小項目評価(継続審議項目)について
  - ・ 「戦略的広報」(NO.55)について、資料3-2に沿って法人から補足説明があった。
  - ・ 広報のリリース数だけでなく、テレビ、ラジオ、新聞、ネット等で取り扱われた露出についても、一定評価ができる。
- 小項目評価結果について
  - ・ 令和4事業年度の小項目評価の結果については、前回の審議の結果、評価委員会としては、全ての小項目について、法人の自己評価を妥当と判断する。
- 「大阪公立大学」に関する大項目評価の審議について
  - ・ 大項目評価としては、A評価(「計画どおり」進捗している)が妥当と判断する。
- 「大阪公立大学工業高等専門学校」に関する大項目評価の審議について
  - ・ 大項目評価としては、B評価(「おおむね計画通り」進捗している)が妥当と判断する。
- 「大阪府立大学及び大阪市立大学」に関する大項目評価の審議について
  - ・ 評価にあたっての意見、指摘等に記載の国家試験の合格率について、獣医師のみの記載であるが、社会福祉士(79.1%)は含めなくてよいか。

- ・ 社会福祉士の合格率については、達成水準は達成しており、未達成の獣医師のみを記載する。なお、社会福祉士については、受験者数の母数が少ないため、合格率に関しては毎年変動が大きい。
- ・ 大項目評価としては、A評価（「計画通り」進捗している）が妥当と判断する。
- 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価の審議について
  - ・ 「ダイバーシティの推進」（NO.49）について、設定された達成水準に照らすと評価Ⅲとなるが、女性の合格者を増やすことはできないので、志願者を増やす、希望者を増やすなど働きやすい進学しやすい環境を作るべく取り組む方が大事ではないか。
  - ・ 評価にあたっての意見、指摘等として、「ダイバーシティの推進」（NO.49）を取り上げる理由について記載が必要ではないか。表現を検討いただきたい。
  - ・ 大項目評価としては、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）が妥当と判断する。
- 「財務内容の改善」に関する大項目評価の審議について
  - ・ 法人事務局より法人の決算や財務諸表等に関して、資料に沿って説明があった。
  - ・ 大項目評価としては、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当と判断する。
- 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価の審議について
  - ・ 「戦略的広報」（NO.55）は資料3-2で補足説明があったことを踏まえ、「目標を上回っている」としてよいと思う。
  - ・ 大項目評価としては、A評価（「計画通り」進捗している）が妥当と判断する。
- 「その他業務運営に関する重要目標」に関する大項目評価の審議について
  - ・ 「コンプライアンス等の推進」（NO.64）については、事実関係を踏まえ、評価Ⅱを妥当とする。
  - ・ 大項目評価としては、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）が妥当と判断する。
- 全体評価に係る審議
  - ・ 全体評価について「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗している」が妥当と判断する。
  - ・ 5ページの（2）評価にあたっての意見、指摘等において、高専に係る取組に関する意見・指摘があるが、説明がないため、高専に係る取組とはわからない。意見・指摘の各項目について、表現を工夫いただきたい。
  - ・ 4ページの②令和4事業年度における特筆すべき取組について、履修証明プログラムについて記載があるが、目標件数1件について、初年度のため1件を計画していたが、5件と目標を上回ったという表現にするなど、記載を工夫すべきではないか。

#### <主な意見>

#### 【議事2：中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務実績に関する評価】

- 小項目評価結果について
  - ・ 中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務実績に関する評

価の結果については、前回の審議を受けて、意見を確認したところ、異議はなかったため、前回の小項目評価のとおりとなった。

- 「大阪公立大学」に関する大項目評価の審議について
  - ・大項目評価としては、A評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 「大阪公立大学工業高等専門学校」に関する大項目評価の審議について
  - ・大項目評価としては、A評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 「大阪府立大学・大阪市立大学」に関する大項目評価の審議について
  - ・大項目評価としては、A評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価の審議について
  - ・「理事長のトップマネジメント」（NO.44）について、「法人が戦略的に取り組むべき予算枠を一定額確保する」、「理事長戦略経費を効率的に活用する」とあるが、具体的な情報がないと十分実績をあげているというかどうか評価しにくい。
  - ・2023年度理事長戦略経費については、「7戦略会議での取組」と「ビジョン2030及びイノベーションアカデミー構想など」の2つの特定戦略分野予算として、1億円を設定した、との記載が業務実績報告書にあり、具体的な取組について、この取組実績を記載すると事務局より説明があった。
  - ・大項目評価としては、A評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 「財務内容の改善」に関する大項目評価の審議について
  - ・大項目評価としては、A評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価の審議について
  - ・「戦略的広報」（NO.55）について、広報の対象、手段、学内のリソースなどの情報について、広報担当者にはつかまないとはいけない。
  - ・残りの2年間でブランドを作るために具体的にどのようなことをするのが非常に大切だと思う。
  - ・大項目評価としては、A評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 「その他の業務内容」に関する大項目評価の審議について
  - ・「施設設備の整備等」（NO.56）について、今年度、来年度の間に全部完成するわけではなく、次の期にまたがるような長期的な整備なので、順調に進めていただきたい。
  - ・大項目評価としては、A評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 全体評価に係る審議
  - ・全体評価について「全体として目標を十分に達成する見込みである」が妥当と判断

する。

- 今後の手続きとしては、府市事務局において、本日の評価結果を踏まえて、最終案の作成を進め、法人に提示して意見申し立て機会の付与をすることとなっている。本来であれば、最終の評価結果案を作成した段階で、また評価委員会を開催いただくべきところだが、日程的に委員の皆様が集まるのが難しいことから、取りまとめは委員長に一任いただくこととなった。

以上